



2019年5月15日

各 位

上場会社名 株式会社アーレスティ
 代表者 代表取締役社長 高橋 新
 (コード番号 5852)
 問合せ先責任者 経営企画部長 成家 秀樹
 (TEL 03-6369-8664)

2019年3月期の通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2019年2月14日付で公表しました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	149,300	3,100	3,150	200	7.72
実 績 値(B)	145,428	3,228	2,905	421	16.26
増減額(B-A)	△3,871	128	△244	221	
増減率(%)	△2.6	4.1	△7.8	110.6	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	145,167	4,718	4,436	3,450	133.40

2. 通期業績予想との差異の理由

売上高につきましては、国内ダイカスト事業における一部取引先の生産調整の影響及び第4四半期における中国自動車需要縮小の影響等により、2018年10月19日付で公表しました売上高を下回る結果となりましたが、営業利益、経常利益につきましては、概ね公表通りの結果となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第4四半期に当社東松山工場で固定資産の減損損失を280百万円計上した一方、投資有価証券売却益2,194百万円(累計)の計上等により、2019年2月14日付で公表しました前回予想を上回る結果となりました。

2019年3月期通期実績につきましては、2019年2月14日付で公表しました「特別損失、特別利益の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、第3四半期に米国工場で固定資産の減損損失3,012百万円(通期為替レート換算)を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は421百万円(前期比△87.8%)となりましたが、米国工場における第4四半期の収益は、改善プロジェクトの取り組みが奏功し、前年同四半期比で改善してきております。また、次期以降につきましては、減価償却費負担の軽減も寄与することが見込まれます。

以 上